

# wish ●●● ウィッシュ

前橋市手をつなぐ育成会報

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>  
 メールアドレス [info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)  
 携帯TEL 080-7744-4300



発行所  
 前橋市手をつなぐ育成会  
 前橋市東上野町459-1  
 前橋市立前橋特別支援学校内  
 TEL027-260-3001  
 発行人 塩崎 政江  
 印刷所 マルエー印刷  
 TEL 027-232-1684

## ◆◆◆◆ 「手をつなぐ作品展」を開催しています！ ◆◆◆◆

毎年9月は知的障害者福祉月間です。

群馬県では、県民の知的障害者への理解を深め、専門教育の推進と福祉の向上・充実に寄与することを目的に、毎年県内全市町村が一体となって50年近く「福祉パレード」を行ってきました。

ところが、今年は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となってしまいました。そこで、福祉パレードに代わる理解促進活動は無いかと模索する中で、市内の公民館や市教育委員会、市社協、みんなの店等々のご理解ご協力をいただき、この「手をつなぐ作品展」を開催することができました。

当初の想定を大きく上回るたくさんの公民館に開催を受諾していただき、結果として9月から12月まで約4か月間、市内を巡回して多くの市民の方に障害のある皆さんの作品をご覧いただく機会を得ることができました。関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

ご尽力いただいた方々より、この「手をつなぐ作品展」についての思いを寄稿していただきましたので、以下に掲載いたします。



### 公民館も手をつなぎます！

桂萱公民館 館長 茂木 勇

手をつなぐ育成会様から本市に、地域密着で巡回展を開催したい…とのお話をいただいたのが7月。調整の結果、事務局様の想定を上回る12公民館（13会場）が参加し、9月からスタートしました。

桂萱公民館の展示は10/19～11/16。折角の機会ですので、地域の方がより深く学べるよう①コラボ企画の追加、②作品販売会、③効果的広報の3点を工夫しました。

- ① 文化祭等で交流のある前橋特別支援学校にお願いし、図工美術作品展を共同開催しました。
- ② 前川副会長さんに第一福祉作業所をご紹介いただき、10/20の販売会が実現しました。
- ③ 公民館報10月号で塩崎会長さんに登場いただいた特集記事を掲載しました。

桂萱の巡回展を終えたいま振り返ると、最も印象的だったのは、特別販売会の際、「公民館で販売してくれてやっと買えた」といった声が聞かれたことです。これは桂萱公民館にとっても大きな学びでした。現状、住民と作業所製品の距離が遠いのであれば、それを近づければいい—今回私たちの得た気づきです。

人や社会、環境に配慮した消費行動を「エシカル消費」と言い、障がい者雇用につながる商品の購入もエシカル消費の一環とされます。今後、公民館の利用方法を工夫してエシカル消費を支援することで、地域住民と作業所製品の距離を縮めることができると考えています。

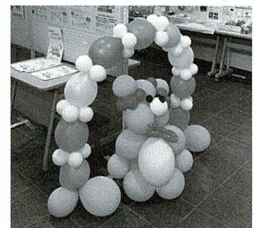
日頃から開かれた公民館を目標にしている私どもにとっても、今回の巡回展は貴重な経験でした。今後も、手をつなぐ育成会さんと協働できる場面が多々あると思いますので、引き続き、お声掛けをいただき、暮らしやすい地域づくりにお力添えをお願いいたします。



作品展の様子



特別販売会の様子



かわいい作品でお出迎え





# 手をつなぐ作品展

下川淵公民館 館長 戸嶋 邦宏

「どれも素敵で、きれいにつくってあるなあ。」これが、最初に感じた印象でした。手作りのまくらやマスク、粘土細工や細かな手芸作品など色とりどりの作品が並べられ、作品展のあった2週間、下川淵公民館ロビーの一角は、とても華やかに輝いて見えました。活動の様子を写した写真も数多く展示され、普段の様子をうかがい知ることができました。

来館される方も、足を止め、作品や写真に見入っていたのが印象的で、「地域の集まりでの記念品などにいわね」といった声も聞こえました。

今年度は、「福祉パレード」などの例年行っている大規模なイベントが軒並み中止となってしまったことは残念ではありますが、こうして地域の方が集う身近な公民館において、作品展を開催し、ふらりと訪れた来館者に実際に作品を手にとっていただきながら、活動の様子もじっくり見ていただけたことは、とても意義あることだったと感じました。

これから市内の各公民館に作品が巡回していくわけですが、各地域で、多くの方の目に触れ、「手をつなぐ育成会」の活動への理解とつながっていくことを願っております。

最後に、このような展示の機会を与えてくれた塩崎会長ほか、「みんなの店」スタッフの方々、前橋市社会福祉協議会ほか関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



粕川公民館  
で展示された  
作品



元総社公民館  
で展示された  
作品



清里公民館  
で展示された  
作品



## 手をつなぐ作品展によせて

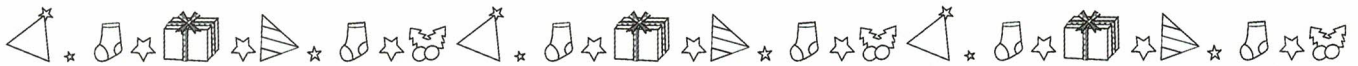
一般社団法人 みんなの店運営委員会 笠原 秀 樹

猛暑の7月始めに、三森市議会議員と手をつなぐ育成会塩崎会長から連絡をいただき、巡回作品展「手をつなぐ作品展」の開催に協力の要請をいただきました。市内の障害者福祉事業所（会員数41施設）が、障害福祉の普及・啓発及び障害者の自立促進を目指して活動する「みんなの店」としては、広く市民の皆様には福祉事業所の活動を知っていただくための良い機会と考えて、全面的に協力させていただくこととしました。

それからの準備期間一か月余り、前橋市や教育委員会の支援もいただいて、市内のほとんどの公民館での4か月間の巡回作品展が始まりました。

福祉事業所の日々の活動は、利用者の個性を尊重し、いかにその自立した生活のための支援を行うかが主となりますが、課題はこうした日常を、どのように市民の皆様には自然に受け入れていただけるか、そして時には手を差し伸べていただけるか、こうした点が満たされて初めて共生が果たされると考えています。

実際に公民館での展示を見ていただいた地域の方から、展示された作品をどこで買うことができるか、とのご質問もいただいています。こうした作品は、福祉事業所の利用者と指導者の間で育てられる「個性」の主張の顕在化と考えています。残念ながら、こうした作品に市場での競争力は乏しいかも知れませんが、施設利用者が、神経を集中して制作している日常は紛れもない事実です。この度の巡回作品展をご覧いただき、また一歩、障害者へのご理解を深めていただけたなら幸甚です。



## 地域共生社会の実現に向けて

前橋市社会福祉協議会 障害福祉課 課長 石井 順子

前橋市社会福祉協議会では、7か所の福祉作業所（地域活動支援センター）と1か所の心身障害者デイサービスセンター（生活介護）を運営しております。

現在、福祉作業所・心身障害者デイサービスでは「新しい生活様式」に対応しながら、地域の方々との交流や様々な社会体験を取り入れ、住み慣れた地域で暮らせるよう自立に向けた支援に努めています。

これまで福祉作業所の自主製品販売をお願いしていた老人福祉センターやみんなの店が、コロナウイルスの影響で休所や閉店になり、自主製品を販売する機会が減り、また、毎年恒例だった販売会が中止になる状況の中、各作業所も新たな製品の開発や製品のPR・販売方法を試行錯誤していました。そのような時に前橋市手をつなぐ育成会から作品展のお誘いを頂きました。

利用者さんの思いが詰まった製品（製品を仕上げた時の達成感・喜び）が、たくさんの人に見て頂ける機会が与えられると、利用者さん職員ともに大変嬉しく思っています。今回の作品展への参加を通じ、新たな製品の制作に積極的に取り組むことができ、「新しい生活様式」に対応した施設運営の一助とすることができました。ありがとうございました。

「地域共生社会の実現」が進められる中、様々な問題を抱えながらも社会と多様なかわりを継続していく支援が求められています。一つの施設、一つの団体では解決できない制度の狭間の問題に対応していくには、それぞれが連携し協働する仕組みが求められています。

今回の連携、協働による作品展やイベントはその一歩であり、さらに新たな実践を積み重ねることで、障がい者に対する理解が進むことと思います。

「共に生きる」社会を目指して一緒に歩んでいきましょう。





## 「手をつなぐ作品展」アンケートより

- ◇すてきな作品ばかりでとてもいい作品展ですね。  
なかなかご存じの方がいらっしやらないと思うので、これからも続けていただきたいと思いました。  
物を作る事の喜びや、やりがいがあるのはすばらしい事だと思います。
- ◇近くの公民館で見られてよかったです。
- ◇こういった作品展を通して理解を促すことは、意義があると思います。  
作品がとてもいいに作られていますね。
- ◇普段目にする機会が少ないですが、公民館で展示してもらえると、気軽に見られよかったです。
- ◇障害をお持ちの方及び関係者の方々が努力されていることが分かりました。  
障害のある方が、働く機会が増えると良いと思いました。
- ◇皆さん前向きな姿勢に心を打たれます。  
細かい手作業の作品をこの様に良く頑張って作ってられる事に感動しています。
- ◇公民館に展示してくれると、家から近いので、よく見られました。  
公民館で定期的に販売できると良いですね。
- ◇会う人皆から教えてもらうことが、たくさんある。  
障害に関わる人だけではなく、皆がこんな勉強をしていくと良いと思います。

### 訃報 岡村昭義事務局長 逝去

令和2年8月7日 本会事務局長 岡村昭義先生がご逝去されました。87歳でした。

岡村先生は、教員時代より特別支援学級の担任を長く勤められ、学校の枠を超えた合同での宿泊行事をはじめ、様々な活動を創設し推進してこられ、前橋市内における知的障害のある子どもたちへの教育の充実に、大変な熱意をもってご尽力いただきました。

また、前橋養護学校（現在の前橋特別支援学校）在職中から、本会の書記としておつとめいただき、退職後は本会の事務局制度を立ち上げてくださいました。手をつなぐ育成会の全国組織につながるようにと、障害のある子の親たちが中心となって事務局を運営し、教員や支援者がサポートするという現在の体制を生みだしてくださいました。

その後、自ら事務局長として30年近く本会の精神的支柱として、誠心誠意ご尽力いただきました。障害のある本人の活動、親たちの活動、養護学校の放課後活動等々、様々な活動や団体を立ち上げ、育ててください、そのご功績の大きさは、到底語りつくせるものではありません。

衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

※なお、事務局にて、会報の号外として「岡村昭義先生追悼特別号」を作成しました。関係各団体等に数部ずつ配布しますが、希望者には個別に配布いたしますので、事務局までご連絡ください。

お知らせ	<b>手をつなぐ作品展</b> これからの展示場所・期間	
	11月25日～12月7日	総社公民館
	12月1日～12月10日	中央公民館
	12月9日～12月20日	桜が丘集会所
	12月12日～12月24日	永明公民館

### 編集後記

「手をつなぐ作品展」を通して、今まで以上に人とのつながりの喜びを感じます。

ほんの少し誰かの助けになれたり、誰かに支えられ嬉しくなったり…。障害の子を育てることは大変なことかもしれません。大変だからこそ喜びも大きく障害の子が人をつないで幸せをもたらしてくれていると感じます。 (高山)